



一般社団法人  
**富山県作業療法士会**  
**ニュース**

平成23年度 No.1 第100号 平成23年6月20日

発行 富山県作業療法士会  
会長 田村良子  
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：470人



## 作業療法士としての成長を願って

富山県作業療法士会 会長 田村良子

今年度は私にとっては会長職や職場での仕事をバトタッチしていく1年間です。作業療法士になって39年目に入りましたが、一度もこの仕事が嫌になったことはなく、「明日はどうする」という戦略を巡らせる日々の連続で、振り返ると後ろに長い道ができていくという感じです。作業療法士という仕事は「主体的な生活の獲得」という目標を掲げていますので、生活者としての自分自身の日々の出来事がすべて作業療法の肥やしになります。職場で働くこと、結婚、嫁姑、出産、育児、病気、老化、町内の付き合い…失敗や苦悩やピンチもすべて。こんなことがあると生活しづらいよな、落ち込むよな、うれしいよなという気持ちから対象者の気持ちや生活が理解できるようになる。年齢、生活経験を重ねることが仕事の幅を広げることにつながる職業ですから、皆さんも是非、働き続けて下さるように願っています。

仕事をするということは人にとって重要な作業活動です。職業関連活動の授業で職業の意義を学びますが、①生計維持、②社会的役割、③自己実現があげられています。前回の士会ニュース(99号…ということは今回100号!ですね)でチリの鉱山事故について書きましたが、あの地下で仕事をしてたこと、そして東日本大震災においても仕事ができなくなったことの苦悩が日々報道されています。「食べて、寝るだけの生活では、心の糧が得られない…」と話しておられました。まさしくOT協会のキャッチフレーズ「作業は人を元気にする」です。今一度、作業療法士として働けることに感謝しなければなり

ませんね。③の自己実現については、作業療法士という仕事を通して様々な人と出会い協働することで成長してきたと思います。作業療法士として働くことが自分自身に対する作業療法であったと言えます。

また、臨床の場(医療施設)を離れたことで、特別支援学校や保健所、授産施設や福祉施設などで他職種の方と一緒に仕事をする機会を得、「作業療法はそういうふうを考えるんだ」と思ってもらえ、自分自身も「作業療法ってこんな見方をするんだ、できるんだ」という発見ができました。他職種との協働により作業療法の専門性を認識することができたと思います。また、ここでは「また来週」がないので1回勝負の世界です。そこで成果を出さなければならぬことが力をつけることになったように思います。そして学校の先生も、保健師さんも転勤があるので、ネットワークが広がっていきました。「もっともっと作業療法を活用してほしい」「お役にたちますよ」、士会はその広報に力をいれていく方針で、今年度から普及指導部の中に担当部署を作り、理事から作田、広野氏を置き進めていきます。「OTさん来てください」の声がかかればすぐに駆けつけて下さい。

最後に、皆さんが作業療法士として働き続けることができるように、作業療法士協会や県士会という組織があることを意識してほしいと思います。専門職としての資格や職域が認められ、報酬が得られ、質を高めるよう自己研鑽を保障してくれています。今年度も一人ひとりの知恵や力を出し合って県士会活動を進めていって下さるようお願いいたします。

## 「米国講師 Allison.J.Hawkins OTR/Lによる研修会」

黒部市民病院 小倉 努

去る3月13日(日)、平成22年度臨時総会に於いて、Allison.J.Hawkins OTR/L(「R」は、「Registered:免許登録された」の意味で「L」は、「License:この場合は、修士号取得者を示す」そうです。)による講演会が行われました。講演内容は、歴史・教育・雇用・職域etc.といった米国におけるOT情勢が中心でした。また、Allison OTR/Lの専門が発達分野ということで、自身の職務経験を踏まえたSIが紹介されました。さらに米国社会においては、作業療法士免許に加え幅広く仕事に生かせる資格を取得する姿勢が強いことから、OTに関連する様々な資格を紹介していただきました。

話は変わりますが、この研修会は昨年7月に行った高志通園センターへの見学がきっかけでした。田村会長に調整・協力いただき、日本で始めてSIが整備された上記施設へ訪問できたことで、Allison OTR/Lはとても感激していました。SIを介して繋がった、知りたい・伝えたいという両者の思いが、研修会開催への原動力になったと思っています。いづれにしろ、今回の研修会は県士会にとって初めての機会、米国から学ぶ姿勢は将来的に意味のあるものと思われ、協力させていただきました。

この研修会の講師をAllison OTR/Lは快く引き受け、準備については、日本へ持参した多くの文献を引用し、追加調査していました。また、山本通訳さん(黒部市民病院横で、英会話教室「New York 英会話」を開いておられます。)とは、入念に内容や進行の確認をしていました。Allison OTR/Lは、週1回来院していましたが、OTskillsのみならず、日本の医療制度にも興味を示していました。算定規定や国民皆保険との関係、介護保険など様々です。米国との違いを知ること驚きや面白さが強まり、講演からは「米国OTのことも、沢山知って欲しい」という思いが感じ取られました。一方、英語での講演は、訳し方により伝えたい内容が異なってしまうリスクを含んでいます。また、山本通訳さんには当然のことながらOTや医学的な知識がなく、そういう面からも講演上のリスクは高まっています。聴講に少しでも支障がないようにと二人が一生懸命取り組んでくれた分、無事に終えることができたこと、また、沢山の質問をいただいたことでの関心の高さに、達成感は大きかったと思っています。今回、このような機会を得たことで、米国のOTの情勢を知り、比較して、これからのOTを考える上での情報源(Clinical pass・病院機能分化等々を例として、日本の医療システムは米国を見習い、それを改善・修正して導入されている部分が多いです。)として

活用することも必要な、と考えてしまいます。

最後に、この記事が掲載されるころには、Allison OTR/Lは既に帰国されています。が、後から聞いた話では、ジョージア州作業療法士協会で、日本のOTの現状を報告するとのことでした。(もうちょっと先に教えて欲しかった…)その中で、一般社団法人富山県作業療法士会のことがどのように紹介されたのか、興味が沸き知りたいたところでした。

## 金沢医科大学氷見市民病院 リハビリテーション部講習会 内部障害のリハビリテーション①腎臓

金沢医科大学氷見市民病院

リハビリテーション部 藤井 智子

さる、4月10日(日)に今年度講習会の第1回目が開催されました。総勢100名の方の参加がありました。近年、内部障害についての講習会が各方面で開催されており、知識を高めていかなければならない分野であります。当院においても内部障害のリハビリテーションの始めとして、腎臓の講習会を開催することになりました。プログラムは、当院の腎臓内科 斎藤淳史先生による「腎臓の機能・解剖と役割」金沢医科大学病院管理栄養士 左古ひとみ先生による「透析患者の食事療法とその効果について」北里大学医療衛生学部教授 松永篤彦先生による「維持血液透析患者に対するリハビリテーションの位置づけと実際」これら3つのテーマの内容で講習会が行われました。斎藤先生の講義では、改めて腎臓の機能を理解し、透析患者の腎臓の状態が理解されました。また、透析患者の問題点も示されリハを行っていく上で注意しなければならないことを挙げられました。運動療法による効果も示され、日常生活動作の自立度の改善、不安・抑うつ・解消、生きがい・心の健康増幅も挙げられており、OTの力が発揮できる場所であると感じました。松永先生は、透析患者の運動機能と身体活動量の評価を行い特性を出されていました。透析患者の上肢動作の特性(自覚困難感)では、肘から肩を使う動作が5割ぐらい困っているというデータを出されていました。また、上肢の運動機能の特性では、握力・肘屈曲筋力・肩外旋筋力・肩関節ROMの低下があり手指よりも肩の機能低下が伺えるとのことでした。当院においても透析患者を担当するのはまだ少ない方ですが、これらの講義の内容を基にOTとしてもしっかり評価し関わっていかねばならないと感じました。

今年度の当院講習会は、心臓・高次脳機能障害・解剖・脊髄損傷等のテーマで行う予定ですので多数の参加をお待ちしています。

## アルド・チャバリアリハビリテーション病院 (ニカラグア マナグア市)

さて、私の仕事が始まって約2週間経過しました。病院の概要の説明はありません。パンフレットもありません。私の言語能力もありません。ということで私の印象やつたない聞き取り能力での病院紹介作文です。

位置は首都マナグアの中心地より北へ車で20分のところにあります。広い敷地を有しています。隣の敷地には精神科の施設があります。

リハビリ部門はPT、OT、心理、言語、相談と部屋はまとまってあります。義肢装具は別棟にありました。病院も行ったのですが、中まで見る事ができませんでした。

### 《作業療法室概要》

ちなみにここニカラグアではOTをTOと言います(Terapia Ocupacional)OTRは1人、もう1人は5月採用の40代の女性(元学校の先生)の2人でした。

ニカラグアには作業療法の学校はなく、これ以上増えません。PTの学校はあります。10M×10MのOT室に付属して倉庫(訓練道具がしまっており)台所(職員用)、トイレ(職員用)、評価室(使われていない)があります。OT室の中の器具は大小のベグ、テーブル、椅子、オーバーヘッドスリングです。いずれもどこからかの寄付と思われま

す。倉庫にはたくさん古い訓練器具がありますが、ここ2週間で使われたものは手関節背屈器具、セラブラスト、紐通し、洗濯はさみのつまみ練習、ボルトナット練習、テーブルのタオルふき、ジグソーパズルでした。

勤務は朝7:00~午後3:00までです。昼食は1:00からで一応一区切りはありますが、患者は時間に関係なくやってきます。でもほとんど午前中で終わる感じです。

訓練の中身は肩、肘、手首、手の機能訓練それだけです。従手的に操作することはありません。ADLに触れることもしません。

昔やっていた複雑単純の簡単対応ですね。1セラピストが10人程度を回りながら一度に見る方式です。訓練内容は先ほど示したような、既に決まっている道具を使い、何分間したら、これを何回するというメニューの示し方です。従って、時間は決まっています。でも1人あたり、大体30分から1時間程度でしょうか?ほとんどが外来患者です。数人が入院患者かな?1日30人程度こなしています。

記録はすべて、手書きです。日時と名前と診断名と障害名と何をするか書かれています。本来は目標となるものがあってもいいのにね。この手書きが

また読みにくいのです。小学生のように文字を一字一字読んでいると馬鹿にされてしまいました。筆記体は独特の書き方をしますので、本来はそれも訓練所で勉強するべきですね。

もっとADLに触れる治療をすべきではないでしょうか?と進言しても患者が拒否する、医師が今のままでいいという。ここまで行くと私のスペイン語の能力が問われ、さらなる会話は続きません。日本でも昔、ICIDHに基づいてやっていた時は上肢の機能訓練に目がいつている時代もありました。

私のカウンターパート(私より1つ下の女性です)はどう考えているのかが重要なところ。彼女も私と同じ時代を生きてきてそれなりにプライドもあり、現在も進行中なわけで、こしばかりは今をまを良しとして半年後、私の言語能力次第でもう一度挑戦してみたいと思っています。

他のリハビリ部門は私の言語能力のこともあり、見学にも行っていません。

以上の文章からどのようなセラピーを一ボランティアとして展開してゆくべきでしょうか?どんな意見でもいただけたら嬉しいです。

人を変化させることは非常に難しいと言われます。だから自分が変化してゆくことから始めるというのが高志リハビリでの思い出です。その結果、飛び出したのですけどね。

以上が病院でのことですが、そのほか生活面、娯楽面、安全面とやはり日本を飛び出してこそ「日本の素晴らしさ」「高志リハビリ病院の素晴らしさ」をつくづく感じています。日本でイライラすることでもここニカラグアの体験をしたら、とても小さなことと感じるようになりました。



第一報 早川 俊秀

### 第13回富山県作業療法学会のご案内

学会テーマ:「人そして生活を支える」~今、作業療法士にできること~

期 日:平成23年10月2日(日) 午前9時30分から午後4時

会 場:砺波市文化会館 多目的ホール 〒939-1382 富山県砺波市花園町1-38

特別講演:「地域医療を支えるために 一物語的理解一」

講 師:佐藤伸彦氏(ものがたり診療所 所長) 会員の皆さまの多数の参加をお待ちしています。



## 平成22年度 第8回理事会議事録

場 所：富山医療福祉専門学校  
日 時：平成23年2月7日（月）19：00～  
参加者：田村、作田、森、松岡、丸本、高林、谷口、  
広野、浅生、吉波、高岡、古沢（財務部長）

以下のことについて検討し、承認された。

### 〈検討課題〉

1. 平成25年東海北陸学会日程  
11月2日(土)、3日(日) 富山国際会議場
2. 脳卒中等地域リハビリテーション推進体制会議の委員の交代 砂原氏から会長田村に交代
3. 全体会での検討事項  
・23年度各部会研修会日程調整—まだ未定のところもあり調整中  
・新人の部会配置、人員の整備—今年度ができなかったので、来年度に合わせて行う  
・源泉徴収—広野氏で対応、講師の自宅住所を把握するよう  
・県民への作業療法の広報—普及指導部の活動とし、理事の作田、浅生氏が担当する小中学校の職業紹介などにも入っていく
4. ハラスメントに関する県士会の対応  
相談窓口が県士会の倫理問題担当下村氏、理事であることを県士会ニュースにのせる
5. 3月13日総会 役割  
受付：総務部 生涯教育ポイント：教育部 総会議事進行：事務局長 講演会司会：会長 財務連絡：広野
6. 23年度予算案の検討  
・発達部会—形式にそって作成しなおしてもらう  
・普及指導部—広報活動のための予算を加える  
・県士会学会—交通費を担当の額にする

### 〈報告事項〉

1. 12月28日富山県介護予防研究会「作業療法の紹介」原稿の送付
2. 1月12日OT協会倫理委員会よりの「都道府県士会におけるハラスメントに関する実態調査」に回答送付
3. 1月30日「福田孜先生 旭日小綬章受賞をお祝いする会」に会長出席
4. 企業データ新規収録取材協力—株式会社帝国データバンク 富山支店
5. 第1回訪問リハビリテーション研修会（富山県PT・OT・ST士会合同研修会）  
2月19日(土) 13：30～17：30 県立中央病院
6. 法人化記念式典・祝賀会の収支決算報告

## 平成23年度 第1回理事会議事録

場 所：富山医療福祉専門学校  
日 時：平成23年4月11日（月）19：00～  
参加者：田村、作田、森、松岡、丸本、広野、  
高林、橋爪、谷口、田邊、吉波、高岡

以下のことについて検討し、承認された。

### 〈検討課題〉

1. 総会日程  
・6月4日(出)午後 富山医療福祉専門学校  
現職者共通研修会／事務・財務担当者会議／総会／新人歓迎会の順に実施  
・事務局長総務より四月下旬に案内発送
2. 県士会功労表彰候補者  
・丸本薫（谷野呉山）、松本和美、松井直美（高志通園）、定田恵美（光が丘）、水島雅子（カリエール）、吉田久美（黒部温泉病院）、遠矢幸枝氏  
・事務局長より連絡し受賞の意思確認をする。
3. 浅生氏石川医王病院に転勤

- ・理事については今年度は欠員のままにする
  - ・吸引研修会は富山病院OT、身障部会に引き継ぎをする
  - ・広報活動は広野氏が代わりに担当する。
4. 倫理問題担当者の選出  
下村氏OT協会退会のため新委員を選出→保里（高志学園）、大野（射水市民病院）氏等に依頼してみる。

5. 退会届の対応  
退会届は理事会に見せてもらい、必要であれば理事から状況を聞く。
6. 東日本大震災義援金  
OT協会へ富山県士会として20万円送る。
7. 日本OT協会会員管理システム接続士会募集に対して他県士会の状況を情報収集し、来年度の募集に応じるかを検討する。

### 〈報告事項〉

1. 富山老人保健福祉圏域脳卒中患者等地域リハビリテーション連絡協議会—会長出席
2. 訪問リハビリテーション研修会（富山県PT・OT・ST士会合同）の今後の活動  
→PT金岡氏を代表として訪問リハ研究会として活動  
OT—田邊、唐津氏
3. 3月総会資料（23年度事業計画、予算）各施設へ送付
4. 東海北陸作業療法学会シンポジストの推薦依頼→砺波総合病院田中氏
5. 被災地への理学療法士等の従事者の派遣について（依頼）—厚労省医政局医事課 4月4日締め切り

## 平成23年度 第2回理事会議事録

場 所：富山医療福祉専門学校  
日 時：平成23年5月9日（月）19：00～  
参加者：田村、作田、松岡、橋爪、谷口、田邊、  
吉波、高岡

以下のことについて検討し、承認された。

### 〈検討問題〉

1. 合同会社gene（ジーン）菊池氏よりセミナー案内広告の掲載の可否について問合せ  
ホームページのリンク先のみ紹介する。
2. 知事のタウンミーティング  
南砺5月21日、黒部5月29日  
各地域の病院には案内がきているので、病院レベルで対応してもらう。
3. NPO法人難病ネットワークとやま—被災地における医療スタッフ支援活動のためのボランティア、支援金依頼  
総会時に依頼の文書を配布し、個人レベルで対応してもらう。
4. 22年度決算書（仮）の検討  
・県士会費の納入率が95%と改善されている。  
・賛助会員費の納入が少ないので確認する。
5. 25年度東海北陸OT学会の準備  
次回理事会で学会長を検討し、11月の福井での学会時に簡単な案内が配れるように準備する。（25年11月2、3日 富山国際会議場にて開催）
6. 教育部よりSIGのポイントの対応について  
研修会の運営者が受講証明書を渡せるように規定の用紙を教育部で作成する。

### 〈報告事項〉

1. 6月4日総会案内発送—現職者共通研修／事務・財務担当者会議／総会／新人歓迎会
2. 金沢大学清水順市氏OT協会副会長立候補決意書を同封
3. 県士会功労表彰—遠矢氏辞退
4. OT協会功労表彰—松井（高志通園センター）、寺村（北陸病院）、作田（砺波総合病院）、真木（県立中央病院）、大野（射水市民病院）、宮本（高志リハ病院）氏
5. 福井東海北陸OT学会演題募集

## 開業奮闘記(その4-最後の砦)

リハビリ・デイサービスおやべ 管理者 北野 満

結局、地元小矢部しかないのだろうか!?

早速、小矢部市健康福祉課へのデイサービス設置の許可願いに訪れたところ初めて有望な返事を頂いた。さらにその足で砺波地方介護保険組合にも要望書を提出し、正式に小矢部市内でデイサービスを開設できることとなった。(失業せずに済んだ…)

しかし、人口の減少している小矢部市で入浴・食事もないリハビリ特化型デイサービスが本当に経営しているのか…。市の地域包括支援センター高齢者人口、介護保険認定者の人口、支援～要介護5までの比率などをお聞きしたところかなり厳しい現実と直面した。全国的にもリハビリ特化型デイサービスは都市部に多く、地方…それも人口3万人余りの小矢部市では厳しいだろうという結論に近づいた。

さらに1年前に開設した前田さんにも相談したが、やはり2年待って高岡での許可を待ったほうが良いのではという返事だった。しかし、そのときにはなぜかアルコールの力も手伝い、高岡市、砺波市もシェアに入ればやれるのではないかという、私にしては珍しくポジティブな考えも膨らんできた。

翌日から、小矢部市のテナント探しと居宅ケアマネへの根回し活動が始まった。

ようやく開業へのスタートである…。

### 施設紹介 — 水橋診療所 通所リハビリのびのび — 松島由佳、喜多利晃

当施設は富山市北東部の水橋にあり、水橋漁港の近くで滑川市の市境に位置します。富山協立病院と同じ富山医療生活協同組合が運営する施設です。地元の組合員さんの要望を受け大きな力を借りて設立され、地域のみなさまに支えられて6年目を迎えました。現在はPT1名、OT2名で通所リハビリ、訪問リハビリを行っています。

通所リハビリはパワーリハビリを主に、個別リハビリや集団リハビリを行っています。嚥下や言語の障害に対しては富山協立病院からSTによる評価・治療プログラム立案の支援を受け利用者さんに沿ったサービスを提供しています。のびのびには入浴設備があり他の利用者さんと会話しながら日常動作の観察ができます。声量が小さい利用者さんも話が好きな利用者さんの隣になると積極的に会話している場面も見られ、フロアとは違う状態が把握できます。

訪問リハビリは富山市の北部地域や水橋地域、滑川市内を対象に行っていますが、エリア内には訪問リハビリの事業所が少なく年々ニーズが増えていきます。訪問リハビリから通所リハビリに移行する利用者さんもおられ、状態にあったサービスの提供ができ継続して関わる事ができるという大きな特徴があります。

「できる方 できることを できるだけ」が当施設のマottoであり、入浴など生活場面において時間がかかっても見守るということを重視しています。

のびのびでの花見会や外出会、夏祭りなどのいろんな行事には地元の組合員さんもボランティアとして協力していただいています。訪問リハビリの利用者さんも通所リハビリの外出会に参加しています。

また、2010年から水橋・滑川地域にある福祉施設でつくる「水橋福祉ネット」というつながりがあり、技術講習会やセミナーなどを行い職員の交流や技術向上に繋げています。水橋の祭りには「福祉ネット」としてバザーや各事業所の利用者さんの作品展示も行い地域の方に身近にある福祉施設を知っていただいています。困ったことがあればいつでも相談していただけるよう「福祉のまちづくり」にも取り組んでいます。

今後とも通所リハビリのびのびをよろしく願います。



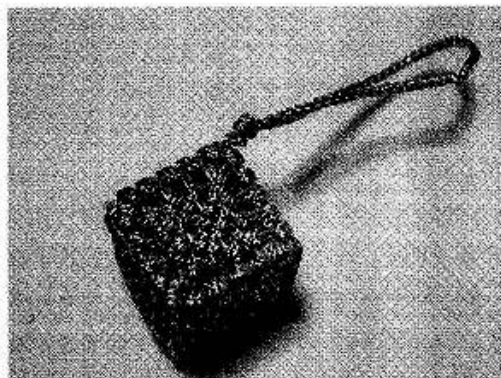
# Activity 紹介

## ネット手芸でつくる キーホルダー

介護老人保健施設 安田 理恵・坂下のそみ  
朝野小百合・福澤 美久

### ☆用意するもの☆

- メタリックヤーン (3.5m 程度)
- キャンバス (網5目×5目 6枚)
- ネット手芸用の針  
(毛糸とじ針でも代用可能)
- はまみ・ボンド・鈴 (お好みで)



### ☆作り方☆

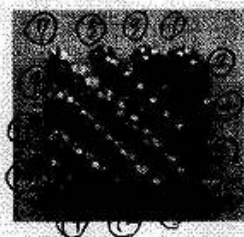
#### ①キャンバスに糸を刺します

##### 刺しはじめ

糸を2cmほど残して  
編みこみます



##### 刺す順番



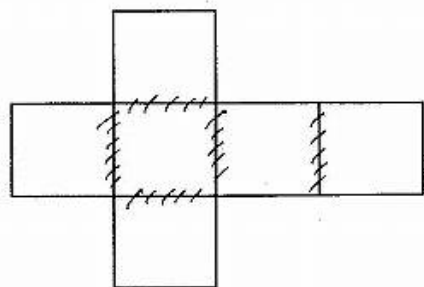
##### 刺し終わり

糸を、刺した目に差し込み  
ボンドでとめます



#### ②さいころ型になるように組み合わせてかがります

例えば、このようにつないで組み立てます



##### まきとじかた



#### ③かがった糸を輪にして完成です。(お好みで鈴を通します)

## お知らせ

### ●アクティビティ部会

日時：平成23年9月11日(日) 10時～12時  
 場所：富山市民病院 集団指導室  
 内容：紙バンド手芸の体験研修  
 講師：紙バンド手芸専門店「あとむ」  
 多数の参加をお待ちしています。  
 連絡先：富山市民病院 TEL  
 作業療法士 佐々木 和也

### ●発達部会

日付：平成23年8月7日(日)  
 講師：京都大学大学院医学研究所  
 人間健康健康科学系専攻 加藤 寿宏先生  
 演題：『すべての子どもが学べる学校づくりと  
 作業療法からの支援』  
 現在は、以上のことが決定しています。興味のある方は参加をお願いいたします。  
 連絡先：重症心身障害児(者)施設 あゆみの郷  
 TEL：076-467-4477  
 FAX：076-467-4478 作業療法士 高澤

### ●地域リハビリテーション部会

地域リハビリテーション部では、壁新聞「きつときど」を作成しています。新聞の内容を通して、地域の方々や患者さまが、より元気で意欲的な生活を送って頂けるような手助けとなればと考えています。  
 今回の新聞から、A3用紙1枚になります。より掲示しやすくさせて頂きました。貴病院・施設等に掲示し、他職種の方々や患者さま利用者さまへの情報提供の一部として用いて頂ければ幸いです。  
 また、こんな記事を掲載してほしい、こんなことが知りたいなどのご意見があればとどしどしご連絡下さい！  
 連絡先：ふるさと病院 TEL0766-74-7062  
 作業療法士 中井 真知子

### ●普及指導事業部 施設見学会 開催

日時：平成23年7月19日(火)～8月5日(金) 土日を除く  
 対象：県内の高校生  
 作業療法士養成校に進学を検討している者  
 皆様のご協力をお願い致します。  
 連絡先：矢後病院 TEL：0766-22-5703  
 FAX：0766-26-8319  
 作業療法士 飯野 美希

### ●第11回東海北陸作業療法学会

学会テーマ：「OTが誕生して半世紀 これから歩む道を探る」  
 会期：2011年11月19日(土)～20日(日)  
 会場：AOSSA (アッサオ)

#### ※教育セミナー

- 1) 慢性呼吸器疾患患者の日常生活動作の捉え方とその指導—作業療法の立場から
- 2) CI療法の実践とその効果
- 3) 訪問における面接技術
- 4) 明日から使える訪問作業療法技術
- 5) 摂食・嚥下障害に対する作業療法アプローチ

#### ※特別講演

「作業が人を元気にする  
 ～これからの作業療法と協会方針～(仮)」

講師：土井 勝幸先生(日本作業療法士協会常務理事)

#### ※市民公開講座

「2011年、介護・医療・生活支援・住まいが変わる  
 ～地域包括ケアシステムとは～(仮)」

講師：東内 京一先生(厚生労働省厚生局)

#### ※シンポジウム

「活かそう！試そう!! 作業療法!!! ～世代を超えて未来へ提言」

#### ●総務

一般社団法人 東京都作業療法士会からDVDと冊子が届きました。

平成22年度 日本作業療法士協会  
 作業療法推進活動パイロット事業補助金制度  
 「福祉用具データベースと評価フォーマットの作成」  
 内容：製品紹介フォーマット・作品紹介フォーマット  
 【付録動画】意志伝達装置「伝の心」操作ガイド  
 ご覧になりたい方は事務局までお問い合わせください。

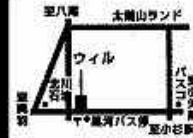
## 介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子  
 →480円より  
 ベッド  
 →700円より



株式会社 **ウィル**

TEL(0766) **56-7099**  
 FAX56-3395



## 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士募集

### リハビリテーションケアを一緒にやりませんか?

**待遇** 当法人給与規定による優遇(委細面談)  
**休日** 年間115日+リフレッシュ休暇5日間(連続)  
**研修制度** 当法人が回復期モデルとしている初台リハビリテーション病院(東京)や相澤病院(長野)での長期・短期研修制度あり。また、藤田保健衛生大学より講師をお迎えし、OSCEによる臨床基礎研修を実施。  
**病院概要** [入院医療] 回復期リハビリテーション病棟  
 [在宅支援] 通所リハビリテーション あいの風訪問リハビリテーション  
**関連施設** 医療法人社団 アルペン会 アルペン室谷クリニック  
 社会福祉法人 アルペン会 アルペンケアビレッジ  
 ●特別養護老人ホーム アルペンハイツ  
 ●ケアハウスとやま  
**応募方法** 電話連絡の上、履歴書をご送付下さい  
 (担当：中村)

リハビリテーション病院

**アルペンリハビレッジ**

ALPEN REHAVILLAGE

〒931-8442 富山県富山市楠木300番地

Fax: 076-438-7780 www.alpen-reha.jp

Tel.076-438-7770





## 平成23年度第2回現職者共通研修のお知らせ

以下の日程で、今年度の現職者共通研修を開催します。対象の方は、受講申し込みをお願いします。

〈日時〉平成23年7月6日(木)、24日(日)

〈場所〉富山医療福祉専門学校

〈予定講義テーマ〉

7/6(木) 14:00~15:30 事例検討方法論  
15:40~17:10 作業療法の可能性

7/26(日)

9:00~10:30

作業療法における協業・後輩育成

10:40~12:10

エビデンスと作業療法実践

12:40~14:10

日本と世界の作業療法の動向

14:20~15:50

保健・医療・福祉と地域支援

16:00~17:30 職業倫理

〈講師予定〉

・作業療法における協業・後輩育成

ー緑ヶ丘病院 中山真一氏

・事例検討方法論

ー厚生連高岡病院 森伊津子氏

・職業倫理

ー富山医療福祉専門学校 田村良子氏

・保健・医療・福祉と地域支援

ーリハビリデイサービス・おやべ 北野 満氏

・エビデンスと作業療法実践

ー金沢大学医薬保健学域保健学類 柴田克之氏

・日本と世界の作業療法の動向

ー長野医療技術専門学校 春原るみ氏

・作業療法の可能性

ーアルペンリハビリテーション病院 能登健司氏

〈申し込み〉

希望者の方は、必要事項を記入の上、平成23年6月24日(金)までにFAXまたは、Eメールにて下記までご連絡ください。

①所属施設名②氏名(ふりがな)③協会会員番号④協会入会年度⑤連絡先TEL、FAX番号

連絡先

あさひ総合病院 リハビリテーションセンター

作業療法士 谷口利香

TEL0765-83-1160 FAX0765-82-0401

E-mail toyama.o.kyouikubu@gmail.com

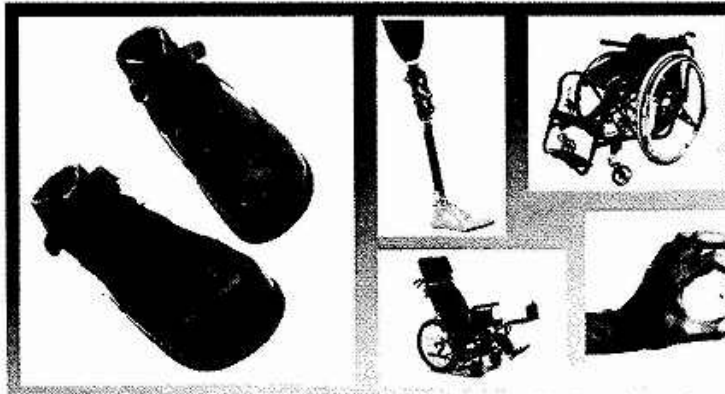
〈その他〉

当日の受付は、両日とも、講義開始30分前からです。昼食は各自ご用意ください。当日は生涯教育手帳を必ずご持参ください。

## Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



### 【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

あの日の、音風景がよみがえる感動補聴器

Oticon | Agil

アジャイル



(株)富山県義肢製作所  
富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp



平成23年度 新規・再入会員

	氏名	旧所属	入会時所属
有資格者	衣笠 正		松岡病院
有資格者	津呂橋 聖		市立砺波総合病院
有資格者	三輪 晃子	石川県士会から	介護福祉老人保健施設さくら苑
有資格者	八木 愛美	神奈川県士会から	自宅
有資格者	長井 拓也	石川県士会から	光ヶ丘病院
新卒	片山 朋子		光ヶ丘病院
新卒	四十物 理恵子		丸川病院
新卒	松井 麻里子		丸川病院
有資格者	佐伯 亘		真生会富山病院
新卒	澤井 暁		独立行政法人国立病院機構北陸病院
新卒	松永 鉄平		独立行政法人国立病院機構北陸病院
新卒	中山 葵		金沢医科大学永見市民病院
新卒	明 篤志		金沢医科大学永見市民病院
新卒	滝川 雄大		金沢医科大学永見市民病院
新卒	野田 匠		陽和温泉病院
有資格者	久保田 徹	石川県士会から	金沢医科大学永見市民病院
有資格者	佐伯 紗穂		サンパリー福岡病院
有資格者	長井 拓也		光ヶ丘病院
新卒	米澤 友香里		介護老健 やすらぎ
新卒	藤井 重依		老健 しきのケアセンター
新卒	鶴田 恭平		老健 みしま野苑一穂
新卒	林 杜學		老健 みしま野苑一穂
新卒	光地 瞳		老健 みしま野苑一穂
新卒	砂土居 愛		老健 みしま野苑一穂
新卒	飛田 あゆみ		ふくの若葉病院

	氏名	旧所属	入会時所属
新卒	福島 美幸		介護老健 ゆうゆうハウス
有資格者	川原 恵子	栃木県士会から	自宅
新卒	土開 美里		介護老健シルバークア城南
新卒	上野 朋恵		介護老健シルバークア今泉
新卒	林 真奈米		リハビリセンターあんじゅーる
新卒	黒田 早紀子		大沢野老健 かやき
新卒	飯田 千遥		八尾総合病院
新卒	位 寄 浩平		富山協立病院
新卒	池 畑 宏明		山田温泉病院
新卒	丸池 駿介		杉野脳神経外科
新卒	小竹 賢太		高志リハビリテーション病院
新卒	白岩 春香		高志リハビリテーション病院
有資格者	神野 剛		南砺市民病院
有資格者	芹澤 宏太		国立病院機構富山病院
有資格者	井上 美穂		済生会富山病医院
有資格者	東 大介		谷野山病院
有資格者	高崎 信弘		県立中央病院デイケア
有資格者	津呂橋 聖子	再入会	矢野神経内科病院
有資格者	福田 蘭子	再入会	みしま野苑 一穂
有資格者	浜出 都	再入会	特養老人ホーム つまま園
新卒	光地 瞳		老健みしま野苑一穂
新卒	四田 望		富山市恵光学園
新卒	浦野 千佳子		アルペンリハビリテーション病院
新卒	白瀬 雅登		アルペンリハビリテーション病院

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	山内 理恵子	自宅	深川病院	
異動	河内 綾子	独立行政法人国立病院機構 北陸病院	公立学校共済組合北陸中央病院	
休会	村井 香織		ケアホーム陽風の里	
休会	米田 彩		矢野神経内科医院	
改姓	戸田 加代子		厚生連滑川病院	旧姓 山本
改姓	野尻 可南子		南砺市民病院	旧姓 坂本
異動	小松 智子	光ヶ丘病院	介護老健 おおぞら	旧姓 村本
休会	増垣 亜弥		老健 なごみ苑	
休会	村本 美紀		自宅	
休会	岩崎 紀美代		南砺市民病院	
改姓	志村 雅実		富山老人保健施設	旧姓 上田
改姓	柳 淳まり		栗山病院	旧姓 今田
異動	松田 公輔	アルペンリハビリテーション病院	厚生連高岡病院	
異動	加藤 春奈	アルペンリハビリテーション病院	厚生連高岡病院	
異動	米田 奈央	みしま野苑 一穂	八尾総合病院	
異動	府津 恭代	介護老健施設 つるさんかめさん	自宅	
異動	長森 史絵	介護老健 きぼう	自宅	
異動	川淵 千晶	山田温泉病院	介護老健 チューリップ苑	
異動	浅生 弘美	独立行政法人国立病院機構 富山病院	独立行政法人国立病院機構医王病院	
異動	山西 友紀子	流杉病院	社会福祉法人相幸福社会デイサービスくつろぎ日和	
異動	川上 陽子	光ヶ丘病院	介護老人保健施設 おおぞら	
異動	岩橋 仁貴	介護老人保健施設 おおぞら	光ヶ丘病院	
異動	岩崎 麻美	南砺市民病院	南砺市訪問看護ステーション	
異動・休会終了	浅尾 妙子	富山赤十字病院 リハビリテーション科	富山赤十字病院訪問看護ステーション	
改姓	関原 明奈		医療法人社団啓愛会小矢部大家病院	旧姓 山本
改姓	出村 晶子		富山協立病院	旧姓 平野
改姓	坂本 真理子		佐々木病院	旧姓 松尾
改姓	佐々井 希		高志リハビリテーション病院	旧姓 長木
改姓	浅野 貴子		みしま野苑 一穂	旧姓 岩城
改姓	餅川 真依		光ヶ丘病院	旧姓 大和
改姓	奥井 真美子		自宅	旧姓 中田
改姓	奥村 亜矢		介護老健シルバークア栗山	旧姓 松田
改姓	宮本 希詩子		南砺市民病院	旧姓 澤田
休会	永原 詩乃		富山大学付属病院	
休会	早川 俊秀		自宅	
休会・改姓	河原 梓		みしま野苑 一穂	旧姓 有馬
休会	中岡 真樹子		矢野神経内科病院	
休会	村上 聡子		介護老健 シルバークア城南	
休会終了	佐賀 絵里		しきのケアセンター	
休会終了	津島 朋美		山田温泉病院	
退会	市山 薫		自宅	
退会	嶺 千秋		桑山金丹保病院	

## 賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
㈱ウイール (代表取締役 山口裕二)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
酒井医療㈱ 金沢出張所 (所長 小木章)	〒920-0053 金沢市若宮町156街区9-1 TEL076-223-4420	
平野重喜	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617	(有) クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
㈱スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	

セクハラ等の倫理問題の相談は、  
担当窓口 射水市民病院 大野英子  
または理事までお寄せ下さい。

### 手芸・毛糸の店

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| ○手芸糸    | ハマナカ                       |
| ○刺し子    | オリムパス、ナスカ                  |
| ○ビーズ手芸  | トーホー、ミユキ                   |
| ○マクラメ糸  | ダルマ、川端                     |
| ○ちりめん手芸 | 東芸                         |
| ○その他    | S.M、M.B他<br>各手芸材料取り扱っています。 |



ボタン・手芸・毛糸



# スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9  
TEL (076) 421-3444  
FAX (076) 421-4334

## 編集後記

100号を記念して、広報部の歴代部長からお言葉をいただきました。

### 100回を迎えて

リハビリ・デイサービスおやべ 北野 満  
思い起こせばまだ昭和の時代、県士会員が50人にも満たないときに県士会ニュースがスタートし、同時に編集長(現広報部長)に就任しました。編集後記は毎回くだらない俳句を書き、編集会議(現広報部会)も毎回居酒屋で…楽しかったなあ。

毎年、広報部員中心に行った県士会スキーツアーとバーベキューも良い思い出です。

12年間部長をさせて頂きましたが、当時も今も美しい広報部員の皆様ありがとうございました。

### 山田温泉病院 津嶋 朋美

前部長北野先生が苦勞して今の県士会ニュースの形を作り上げ、土台を築いて下さったのですが、部長を頼まれた時はかなり不安でした。なんとかニュースを発行し続けられたのも、北野先生はじめ広報部員の協力、原稿を快く引き受けてくださった皆様のおかげだと思って感謝しています。また当時会長だった高岡先生にも部会に顔をだしていただき、助言やその他ためになる話を多く聞かせてもらいました。この場を借りてお礼を述べさせていただきます。時代も変わり、県士会ニュースの形も変わるかもしれませんが、その時代の最新情報発信の場だと思っています。次は目指せ200号でしょうか。

### 誠友病院 扇山 和也

祝・県士会ニュース100号!!100号といえば非常に長く感じるのですが、これまで余り熱心に県士会活動に参加してきた訳でない私にとって80号から99号まで編集作業に関わることが出来たことは非常に大きな経験となりました。

富山県作業療法士会にはホームページもあり、必要な情報は直ぐにでも知ることの出来る時代であります。が、ここは敢えての紙媒体である県士会ニュースを今後は新しい広報部長の元、柔軟な発想で今までにないニュースを作り上げて頂ければ幸いです。

### 厚生連高岡病院 向 慎司

広報部のニュース発行も100号になりました。この号は先の先生方が築き上げてきた重みのある数字だと思います。私は今年度から部長を務めさせて頂いていますが、まだまだわからない事が多くあります。今後の活動には先輩の助言をいただき、後輩と和をもち、わかりやすい広報を発行していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。